

令和 6 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

兵庫県

行事名称	姫路城総合訓練（第 7 1 回文化財防火デー）
実施期間・日時	令和 7 年 1 月 2 6 日（日） 7 時 4 5 分～ 8 時 3 0 分
実施場所	姫路市本町 6 8 番地 世界遺産 国宝姫路城
主催者	姫路市消防局、姫路城管理事務所

■実施内容

訓練の想定

午前 7 時 4 5 分頃、姫路城大天守 3 階から出火し、スプリンクラー設備により火勢は収まっているものの、死角で燃焼が継続。複数の待機者及び負傷者が発生しているとの想定。

訓練の内容

- (1) 自衛消防隊による初期消火・避難誘導・情報提供
- (2) 警防計画「姫路城 本丸」に基づく屋内外消火栓・消防隊専用放水口を用いた早期消火体制の構築
- (3) 警察機関との連携による多数観光客の避難誘導、救出救助の実施
- (4) 現場救護所の開設と負傷者のトリアージ
- (5) 外国人観光客を含む負傷者に対する対応（姫路城常駐の通訳ガイドの活用）
- (6) 姫路城管理事務所の公用車を活用した資器材搬送及び負傷者搬送の実施
- (7) 文化財の防火意識と愛護思想の普及・啓発のための一斉放水

参加者及び役割分担

- ・姫路城管理事務所 30 人 車両 1 台：自衛消防隊による初期消火・避難誘導・情報提供、資器材搬送、負傷者搬送
- ・姫路市消防局 81 人 車両 7 台：全体統括指揮、天守内外の消火体制、負傷者の救出、現場救護所の開設と負傷者のトリアージ、一斉放水、講習訓練の進行、支援、安全管理員
- ・姫路東消防団 9 人：外国人を含む多数観光客の避難誘導、救出救助の実施
- ・姫路警察署 6 人 車両 1 台：外国人を含む多数観光客の避難誘導、救出救助の実施
- ・姫路市国際交流センター 1 人（外国人）：外国人負傷者役
- ・姫路市教育委員会事務局 生涯学習部 文化財課：3 人（訓練立会い）

特に工夫した点

- ・多言語メガホンを活用した避難誘導、通訳ガイドを活用した外国人観光客への対応力の向上
- ・ドローンによる上空からの状況把握
- ・消防車両が進入できない城内において、消防用設備を活用した消火体制の構築
- ・放水砲を用いた一斉放水

問題点・課題

- ・城内の通路や門は狭く、傾斜や段差が高いため消防車両の運転技術、危険なポイントを全員が把握しておく必要がある。
- ・毎年、当訓練は開城前の時間に実施しているが、車両や資器材の撤収、退城が観光客の入城時間と重なり、危険が生じる部分がある。今後、訓練の実施時間、入城ルートの規制等を姫路城管理事務所と調整していく必要がある。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、姫路城内の消防用設備の確認とともに、事前に策定した警防計画の活動を検証できる。また、姫路城管理事務所、地元消防団、管轄警察署等の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景



天守内に向けた消火体制訓練



一斉放水（ドローン映像）